

令和6年度北部児童センター運営協議会 会議録

日時：令和6年12月20日（金）

13時30分～14時40分

会場：北部児童センター

次 第

開 会

1 会長挨拶

2 説明

（1）児童センターについて

（2）令和5年度及び令和6年度(11月まで)の実績について

（3）利用者アンケートの結果について

（4）令和6年度、令和7年度行事予定について

3 児童センター運営についての意見交換

閉 会

議事録（要旨）

【次第3 児童センター運営に関する意見等】

事務局：（資料について）少し補足します。（行事の）参加人数について去年と今年を比べていますが、私の手元にあるデータだけで少し話をさせていただくと、一般来館（の人）、つまり行事には参加しないがセンターに遊びに来たという人たちの数が、実際は相対的に19%ほど増えています。一般利用と行事にも参加した人は去年に比べて約9%増えています。これは誤解を恐れずに言うならば、一般来館の利用者がかなり増えている（ため）。小学生はやはりコロナなど、それから何より今年は暑く、8月（の利用）は激減しました。そういったこともあり、小学生に関してはそんなに伸び率はありません。去年に比べれば1桁ぐらい（増えている程度）。ところが、「行事には参加していないが、（北部児童センターの）利用に来ました。」という利用者は24%とかなり増えています。ところが一方で、行事に参加されている方が激減しています。その理由は行事を減らしているからであり、去年に比べて16個行事を減らしています。赤ちゃんサロンやきらきらキッズでやっていることを16個減らしているため、それに対して一般来館の方が行事に参加しておらず、去年から比べると33%落ちています。そのため、ここ（北部児童センター）の持ち味である行事をすることによって、小学生や一般来館が増えるというのは分かっていますが、職員が集まらない。そのため、バスセンターにポスターまで貼って（職員の募集を）頑張りましたが、応募が出てこず、ハローワークなどでも出しましたが、まだ（応募がない）。やはり人（職員）がいないと、行事も思い切りできないというのが現状。そのため、全体的には（利用者は）増えています。増え方が非常に緩やかであるし、行事が増えればもっと確かに（利用者は）増加するだろうという自覚もありますし、私たちが話をしていると思っています。

委員：小さいときから孫たちが沢山利用させてもらっており、本当にきめ細やかであるし、家ではできないことをとても親切にさせていただいて、絵を描いたりなど、最後まで温かく見ていただいているので、小学校でお世話になっている孫たちも、家では何も教えてないのに、絵を描いたり、いろんなことで学校に出向くと、色彩よく色をきれいに使って描いている絵を貼っていただいたりしている。でもそういうのは全部ここ（北部児童センター）で、小さいときから先生方から教えていただいた。よかったなあ（思う）。私たちが感謝していますが、やはり親たちは「よかった、ここ（北部児童センター）が近くで。」と、利用者として本当にありがたく思っている。本当にいろいろイベントをしていただいているが、今の話を聞いて、先生方2人では大変だろうなと理解した。また、今日皆さん車を入れられて「駐車場が狭いな。」と思われたと思う。子どもたちが学校に行く際の安全性を考えて、（駐車場の）入り口を北のほうから入るようになるなど、もう少し駐車場を。いろいろイベントをされるための畑もいいが、畑を少し減らしてでも駐車場を広くしていただければ、皆さん大きい車で来館し、歩いて来ることができる訳ではないため、なるべく考慮していただけたらな、というのを今日お願いしたかった。また、トイレがとても暗かったが、それを覚えていただいていたよかった。小学生になればそうでもないが、孫たちがトイレに行くのが「怖い。」と言うことがあったのでありがたい。

事務局：トイレの照明は一旦まずLEDに変えさせていただいて、それでもあまり光が入らないという

部分がもしあれば、そこはまた別途検討をしたいと思っています。最近替えたばかりであるため、もう少し様子を見させてもらえればと（と思っています）。

委員：本当に今、人が足りず、どこに応募をかけてもどの分野も足りないと感じているところ。児童センターで可能かどうか分からないが、ジュニアスタッフなど、子どもたちの中で一緒にお手伝いしたい、企画のアイデアを出したい、などの子を募っていく中で、この地域の中で活躍できる場があったり、地域の愛着を持っていくことが増えていったりするようなこともあるかもしれないと思いながら（話を）聞いていた。以前勤めていた小学校が地域の連携がとても進んでおり、学校で様々なことを企画するが、ジュニアスタッフ、子どもたちに募ると意外と希望者がおり、小さな子たちと一緒に遊んだり、自分たちの企画ブースをつくったりなどというようなことをしていたこともあった。学校の土曜日（学校）開放でしていたのだが、しかしながらここは児童センターであるため、（学校の）施設開放中に行っていたものとはまた違いただろうとも思いながら、思い出したところだった。

あともう1点。中高生の利用の少なさというのはやはり他の施設でもあまり変わらないところか。

事務局：中高生の利用に関しては、中央児童センターは比較的多い。中央児童センター自体が、バスケットゴールが外にあり、そういうもので遊んだり、卓球台など結構広く遊べる施設になっていたりするため、中高生でも遊ぶことができる広さを設けた、少し大きい施設でもあります。ただやはり、北部児童センターや、久保田児童センター、川副児童館、東与賀児童館に関しては施設自体が、中央児童センターに比べると小さいため、利用に関して見ると中高生が思い切って遊ぶとなると施設の規模的に厳しい部分があると思っています。北部児童センターは職員の対応に満足していただいている部分から特に乳幼児の利用が多いという施設の特徴があり、育児相談などをしていただいているようです。そういう点について、非常に満足度が高いのが北部児童センターであり、乳幼児さんの利用が少し多い。また、小学生は（北部児童センターの場所が）学校からとても近いということもあるため、立地的にも小学生の利用が多い。そのため、中高生というよりも、乳幼児と、小学生の利用が多いのがここ（北部児童センター）の施設の特徴であると思っています。

委員：利用者数（年齢別割合）を見ても、令和元年から乳幼児の方の利用（割合）が倍増というところもあるため、そのような特徴のある施設かなと見ており、私も「中高生が利用するというのはどのような場面かな。」などと考えると、やはり体を動かしたり勉強したり、などをしたいのかな、など（考える）。また、（小城市）三日月（町の児童センター）に行った際に、結構広く、防音設備の中でドラムを叩けるなど、思い切って音を出せるというような施設設備もあったが、今、この（北部児童センター内の）施設のスペースの中にそのような（施設を設置する）のは難しいだろうなと思いながら見ていた。

事務局：コロナ前と比べると、子どもたちの動向が少し変わったというのも印象としてあります。（北部児童センターも）以前は自由にできた時代があったが、今はいろいろと制限もあり、やはり今一番怖いのはケガであるため、子どもたちにはかわいそうですが（利用する際には）制限をかけています。そのためスポーツも、バスケットゴールは（外に）あるが、（子どもが）「先生ボールは。」と言ったら「ごめん、ないよ。」と言っています。なぜかというと、バスケットをしてボールが

跳ねて車にあたってしまう可能性がある駐車場のつくりになっているため、「ごめんね、させられない。」と答えています。バドミントンなどもできるが、外でバドミントンを本気ですれば（コンクリート）が危なく、卓球も、小さな子どもさんがいらっしやっつてぶつかってしまう危険があり、本気で卓球をされたらとても困る。昔の写真などを見ると、中高生もたくさん利用していたようです。食べたり、お祭りをしたり。しかし、今はアレルギーなどがあるため、食べることにすら、簡単にはいかない。非常にそういった意味ではやりにくくなってきた、というのが本音のところ。ただ、できるところから少しずつ（やっていきたい）。取り入れて取り組んでいきたいと思っています。

委員 : 今3歳と0歳の子どもがおり、こちらの施設を利用させてもらっているが、もともと私はイベントが魅力的だと思って参加し、イベントに参加しているうちに、アンケートにもあったように、職員の方がとても温かく優しく、イベント以外のときでもここ（北部児童センター）に来るとお話しできるなど、心のよりどころとなる場所だな、というふうに思っている。確かにイベントが多いとありがたいが、職員の方の負担などもあると思う。1回1回のイベントが本当にいろいろ工夫をされていて、すごくためになり、子どもが喜んだり、私たち親がありがたいような企画をいつもされていたり、とても感謝している。また、やはり駐車場が少し狭く、すごくいいイベントがあっているのに駐車場に入れず断念し、（人数）制限があつて帰られるということもあるため、土地がないと思うけれども、もし近くに駐車スペースがあればいいなと思う。また、畑もイベントで植えたり掘ったりなどそういったこともあるため、畑も大事にしたいというのもあり、そこが難しいところだなと思う。人の問題と場所の問題というところが難しいところだろう、と思っている。最後に、その中で職員さん、所長さんはじめ、とてもよくしていただいているため、この場（北部児童センター）があるということがすごく佐賀市に住んでいてよかったなと思う。自分の家からだ中央児童センターのほうが近いが、中央児童センターに行く場合もあれば、利用したい内容によって、地元の友達や中学生も一緒に（利用するときや）友達の子もなど、小学生中学生も一緒に大人数で一緒に遊ぶ、というときは中央児童センターに行くなどしており、平日に自分たちだけで利用したいというときはこちら（北部児童センター）に来るなどしており、用途に応じて利用できる場がそれぞれあるというのはすごくいいなと思っている。

委員 : 私は3歳の子と1歳の子がいるが、先ほどの中高生の利用という点で思うことに関しては、もしかしら北部児童センターも中高生の利用が増えてほしいと思っているかもしれないが、親としては、逆に乳幼児だけに特化をしてもらうなど、そのほうが行きやすい場合もあるかなと思う。やはり先ほども（他の委員がおっしゃられたように）、私も中央児童センターも何回か行ったことはあるのだが、週末になるととても中学生も多いため、やはり1歳児がうろうろしているとぶつかるなど、そのような心配をしながら見ないといけない。そのためそういう意味では、平日と土曜日等であれば、この北部児童センターに関しても、土曜日の場合は小学生が1番多い時間帯はどこか、などと少し考えて来たりするなど保護者としてはしているため、児童センターというものが全ての学生にとって来ることができるような場所ということなのかもしれないけれども、例えば（乳幼児に特化するなどの）そのような特色があるような、大きいからこそ中央児童センターは、そういうところ（中高生など）も受け入れるような児童センター、ここ（北部児童センター）は保護者さんとの連携などがうまくいっているため、ここ（北部児童センター）

は乳幼児に特化した児童センター、などというふうには、特色があるように分けていただいても（いいのかな、と思う）。佐賀は特に車でどこへでも連れていけるような環境であり、皆さん車を持っていて移動されていると思うため、そういうこともありかな、と（思う）。親としては「あそこ穴場だった、人少なかった。」という話はある。（利用者が）少ないため利用しやすい、広々している、安全性というのは、特に0歳から3歳ぐらいまでは（保護者同士の）話に上がるため、もし中高生を今後、児童センターでもっと（利用者を）上げて伸ばしていきたいということであればこの意見は違うのかもしれないが、そういう考えも親として持っているところもあるのかなと思う。またイベントに関して、ここ（北部児童センター）は1個1個のイベントがとても丁寧に、手作りのものなど（厚生員の）先生たちが一部つくってもらったものに私たちが手作りすることで完成するようなものなど、アイデアがとても凝っているのも、本当に大変だろうなと思うし、その分満足度も高い。そのため、（新しい）厚生員の先生が入ることが1番だと思うが、（新しい厚生員の先生が）入るまで、もし予算的余裕があるのであれば、例えば親子リズムダンスのような外部の先生を入れるなど、少しでも先生方の負担が減るのであれば、そういうイベントもいろんな考え方、違う目線ができるなど、新たな発見になるため、イベントにさらに参加したくなる。いろいろ子育てサロンやイベントに参加している方は、「こんなものあんまり見たことないね。」など、物珍しい、行ってみようか、というような視点だと思うため、そのような視点があったらいいかなと思う。また、私は近くであれば久保田児童センターやゆめ・ぽけっとなどが近いが、あえてここに20分かかるとしても利用している理由の1番は、職員の方の子どもと親に対する接し方、1回来ただけで覚えていただいて声をかけてもらえるというのがすごく1人目のときにありがたく、そのため上の子のときに特に通い詰めて、今も利用させてもらっているという流れなので、ぜひ今の北部児童センターの特色であるこの職員の方々の優しいところというのはぜひ続けていってもらえたらありがたいなと思うので、よろしくお願いします。

事務局：ありがとうございます。

委員：先生方が一生懸命いろいろなイベントなどを考えていただいているが、やはり地域性を生かして地域の教えて頂ける方に頼むなど、いろんな（やり方で）先生方のご負担を少しでも軽くして（いただきたい）。（厚生員の）先生方のご指導でつくってもらった携帯のやつなど、孫たちは（未だに）大事に持っている。普通はすぐ捨てるが、それをありがたく（とっていて、）こんなふうにして作ったよねって（話している）。また、（孫が）自分の小さいところに家でまたそれと同じように作ってみせるというような、心温まるいろんなイベントをしていただいているので、やはり先生方のご負担を考えると大変ではあるが、イベントはこれから先も続けてほしいというのがある。心豊かに、子どもたちが大きくなっても絶対それは残っていると思う。

事務局：授乳室についてもご意見頂ければ。

委員：（授乳室の設置案の場所は）そこは玄関の入り口のところ。結構そこは、子どもが遊戯室で遊んでいるときに、玄関の入り口のところで積み木をしたり、他の子どもたちがすごく（元気に）遊んだりしていると、こっちで少し静かにできるというスペースがありいいな、と思っていた。しかし、確かに小さい子どもたちを2階に連れてきて、道具も持ってくるというのもやはり大変（である）。スペースがなく、なかなか場所がないため（難しい）。可動式であれば、玄関の入り口ではなく、遊戯室の隅など、そういうところ（への設置は）は危ないか。

事務局：もう1か所、トイレの前の窓側も考えてはいます。

事務局：いずれにせよ可動式の形で考えておきまして、イベントごとや子どもの利用状況などに応じて、少し移動させて(利用していただき)、使われる方が1番使いやすいところで(使っていただく)、余り騒がしいところで(授乳を)するのもなかなか難しいと思う。そういった部分に臨機応変にできるような設計のものを、と考えていますので、そこは北部児童センターが運営をしながらいい場所を探していただければと思っています。

委員：よいと思う。

事務局：やはり安全性最優先で考えており、見えないスペースはつくりたくない。職員の共通理解としては、(見えないスペースで)何かあったとか、何かやっていたってということだけは(避けたい)。そのため、遊戯室で遊んでいる場合は必ず誰か1人が見えています。そうしなければ、事故が起こってからでは遅い。それでも、お母様と小さい子どもさんが少し静かになるスペースが欲しいということを受けて、授乳室をつくろうではないかという話が以前出ました。今おっしゃっていただいたように、確かに遊戯室で騒がしくして、遊戯室が少し騒がしいためこっち(玄関の入り口)で遊ぼう、という利用者さんもいます。玄関の入り口のこのスペースは資料の写真で示しているとおり少し狭くはなるが、ここをどうにかして使いたい。また、場合によっては今の状況でもっといい(授乳室を置く)スペースが見つかるかもしれません。そういうときにはまた(授乳室を)動かす、ということになると思いますが、光の入り具合や、見えないスペースが出ないようにと、北部児童センターから(案を)出したのがここ(玄関の入り口)です。ただ何より、おながが大きいお母さんが2階にふうふう言いながら上がられるというのも気になっています。「おむつ替える場所は2階しかないですよね。」とのお尋ねや、遊戯室にベビーベッドあるが小学生が遊戯室で遊んでいるとなかなか(そこでおむつは)替えにくい。そういうときに静かな(別の)ところがあれば(よい)、ということもあり、授乳だけではなくおむつを替えるようなスペースとしてできないだろうか、という話を(させていただいた)。まだ結論ではないため、いろんな意見を伺いながら、設置場所も決めていきたいと思っています。

委員：2階より1階に、2階とか1階にあるとありがたいなとはとても思う。

委員：ここ(玄関の入り口の遊び場)もとてもいいスペースなのでそこが狭くなり、どのぐらい(狭くなる)かまだイメージ(がつかず)、実際の感覚が分からないが、とても狭くなるということであればここを好きな子もいるため、どうなのかな、というところが(ある)。トイレの前(に授乳室を設置する)のほうがいいのか、可動式ということで、1回設置してみて変えてみながら検討されるということであれば、いい場所が見つかるといいな、と。

事務局：縦置き横置きなど、いろんなことやってみて(設置場所は決めたい)。いろんなパターンで試してみたいと思います。ただ、まずは1階に(授乳室を)置きたいというのが(ある)。それはやはり、リクエストが1番多い内容でもある(ため)。

委員：ちなみに、2階の授乳室はそのままで、1階にも(設置する)といことなのか。

事務局：その通り。

委員：他に意見がないようです。これで私が担当するところは終わりとなるが、あとは事務局にお返しする。それでは事務局の方よろしくお願ひします。今日はありがとうございました。

事務局：ありがとうございました。尚、巻末のほうに、今年度分と来年度の行事予定を入れさせていただきます。

いています。先ほど頂いた意見の部分も踏まえながらいろいろと検討することになると思いますが、何かイベント等に関して北部児童センターから補足しておくこととかはありますか。

事務局：（行事予定を）ご覧頂いてほぼ去年と今年と内容は変わりません。強いて言うならやはり行事が増えていません。ただ、（行事を）増やすことはいつでもできるため、次の新しいスタッフが見つければすぐにでも、新しい行事を水曜日（に入れたいと思っています）。大体水曜日は赤ちゃんサロンかきらきらキッズを入れていましたが、それを来年度はほぼ抜いています。しかし、ダンスなどエクササイズに関しては先生から許可を頂いているので、来年度も続けていきたいと思っています。（今年度の行事で）1番ポイントだったのは、夏休みに子ども向けの行事がほぼできなかったこと。理由は暑かったため。暑い中、「外で遊びましょうか。」というのは勇気が出なかったということと、職員が欠員だったという理由もありますが、その部分の企画はまた今後臨機応変にやっっていこうと思っています。

事務局：頂いた意見のほうは反映させながら、よりよい館の運営につなげていきたいと思っています。これをもちまして、令和6年度北部児童センターの運営協議会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。

全員：ありがとうございました。